保護者アンケート

＜以下典型的な回答をピックアップ＞

1．実習のなかで、子どもが本日のテーマのような物理の世界をより身近に感じるようになった活動は何だと思いますか？

- 花びらを凍らせて自分で割らせた実験・マイスナー効果
- 液体窒素の実験
- サーモグラフィーを使用したこと、高温超電導実験
- 「触れる」という部分が一番の経験になる
- 空気が液体になるのを見られてよかったです、
- バラや輪ゴム等認識している部室の性質が「温度」によって全く異なる性質の物体になる現象を見て、興味を持てたと思う。
- 講習は楽しみにしていましたが、今回のテーマでは物理を理解していないようでした。
- リニアモーターカーの説明を万博で聞き興味を持ったこともあり、食い入るように見ていました。

2．今日の実習の意義（以下の選択肢で最も当てはまるものの番号を○で囲んでください）

a 大変意義があった(25 名)　b 少し参考になった(5 名)　c どちらともいえない(1 名)

d あまり参考にならなかった　e まったく意義が無かった

3．今日の実習で良かった点、あるいは悪かった点について、具体的なことがらを記載してください。

- 前半、レーザーポインタが見えずに分かりづらかったです。
- 最初に抗議を聞きその仕組みが少し分かった時に実験ができたこと・空気が液化することなど風船を使って実験をしたことなど。
- 法則の説明が小学生には分かりづらく、先生の言葉を聞いて頭で理解するまで時間がかかりすぎていたみたい、次の話にうつっていたので、たとえ話をするなら、マンガみたいなものをとちゅうで入れてみた方が子供たちも理解できるのではないでしょうか。
- 講義はわかりやすかった・実験が見えにくい
- 質問時間があるとよかった・前半の講義は興味がわかなかった。
- 良かった点：液体窒素で凍らせたバラの粉砕、悪い点：CO_2ボンベのガス不足
- 良かった点：実験に参加できたこと、悪かった点：サーモグラフ、CO_2ガスの実験は事前準備が足りないと思う。
- エネルギーの話が出てくると分かりにくいと思った。
- 体験型の実習が物理の世界を身近に感じさせた。・講義の内容が難しすぎるぶぶんがあった。
- 先生の表情が朗らかでよかった。
- プロジェクタの資料と手元のプリントが食い違っていて分からないところがあった。

4．実習の効果（実習に参加したことによって、身の周りの現象等の見方について、お子さんの成長あるいは保護者ご自身の変化がありましたら、ご記入ください）

- 温度の変化によって、期待・液体・固体となることを実際に目で見て興味があるようでした。

- 冷蔵庫、エコキュー、クーラーとなど身近なものについて、知ることができて興味を持ちました。もっと知りたいという気持ちになりました。
- 身の回りにある物事に関心を持ち自分の抱いた疑問を追及していくことに今後期待したいです。
- 原子力発電の説明が面白かった。
- 初回であり、具体的には分からないが、保護者と一緒というのも面白い企画と感じる。親子の一体感という意味で。
- テレビでしか見たことのないサーモグラフィーで実際に自分をうつしてみたりできていい体験ができました。
- 原子力発電（火力発電）の話では、子供も興味深そうに聞いていたのが印象的でした
- 熱力学（熱の伝わり方）等に興味を持ったようでした。
- 帰りの道すがら話合ったりできたので良いと思いました。

５．その他（本連続講座についての感想、あるいは要望など、ご自由にお書きください）

- 先生の使用していたレーザーポインタがいまいちどこを指しているのか分かりませんでした（赤のほうがよいと思う）
- これからも期待しています。
- 講座が終了したときに、子供がどんな風に変化するか楽しみです。
- 実験に際し、子供本人よりもその親が最前線に出てきている姿は見苦しいので謹んでもらいたい。
- 実習等をとおして子供が体験できる機会を多くしてほしい。
- スクリーンの資料と、配布資料は同じにそろえてほしい。
- 講義の内容を少しレベルを下げて、小学生でも理解できるようにお願いします。
- 実習の内容とパワーポイント資料のレベルの差が大きい。